

未来こい!ネット通信

発行者：伊野やって未来こい!ネット 2022年7月29日 第17号

平田高校生が伊野来訪 地域課題を考える

地域は日本の縮図

伊野地区に関心を寄せる高校生・大学生が増えている。平田高校は地域課題を通して地域の未来や自分の進路を考える学習を続けている。六月十四日、平田高校1年2組の生徒が空き家(垂水邸)や地合漁港、コミセンを訪ね、伊野のまちづくりを学んだ。

二〇年後も活動が継続できるか

一番印象に残ったのは空き家を活用していることです。

小学生と一緒にDIY(日曜大工)できれいにしたり、留学生と一緒に障子をはり直したりしていると聞いて驚きました。実際に空き家に行ってみると、空き家とは思えないほどきれいでした。

地域の方たちがしっかりと管理しているんだなど感動しました。伊野地区がもつと活発な地区になってほしい、と強く思いました。

人口減少によって多くの空き家が生まれたり、農地や山林が荒れたりするとうい課題があると聞いて、二〇年後、三〇年後、今のようなプロジェクトを行うことができるのか、ということも課題だと思いました。

杉原七々星

ふるさと愛すべし

伊野を活性化させるために空き家を管理したり、耕作放棄地をそば畑にしたり、伊野いちを開催したり、簡単ではないことをしておられてすごいなと思いました。

地域が好きじゃないとできないと思うので、伊野のことを愛しているのだろうと思います。そんな思いで成り立っているからこそ留学生や伊野ふるさと会員など伊野地区に住んでいない人とも関わりを持てたりするんじゃないか、と思います。

森山仁美



伊野について学ぶ高校生

島根大学が夏季集中授業の講座「中山間地域フィールド演習」を伊野で開催する。

学生5人が垂水邸に宿泊まりし、地合定置網漁業の体験をしたり、農業者から聞き取りをしたりして中山間地域の課題について考える。

八月五日から一〇日までの予定。発表会は九日午後七時からコミセンで。多数の来場をお待ちしています。

島大生伊野で 泊まり込み 地域研究

New

伊野出身の大学生2人が伊野いちや空き家について卒業論文やレポートにまとめる取組を始めた。大阪大学の学生も卒論のために聞き取りにやって来た。